

取扱説明書

ご使用前に必ず、取扱説明書をお読みください。
尚、お読みになった後も大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

SPH2008

セット内容



ホルダー本体×1

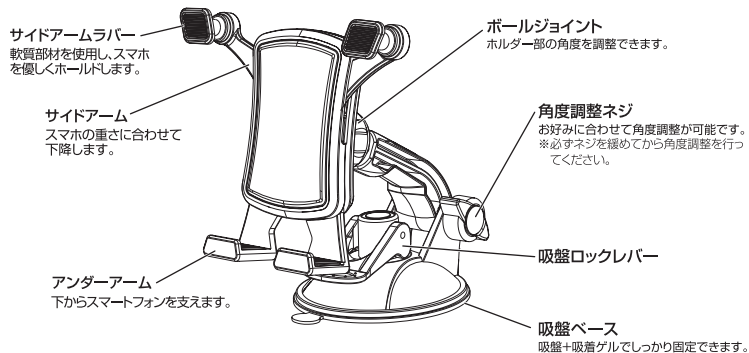


アーム吸盤×1

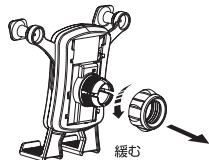


吸盤補助シート×1

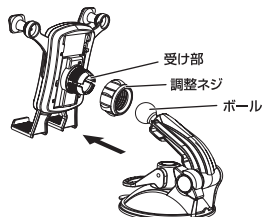
各部名称と機能



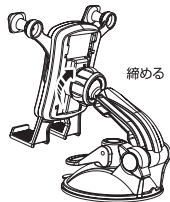
ホルダー組立方法



①ホルダー背面のボールジョイント固定調整ネジを回して外します。



②アーム吸盤のボールにホルダー背面のボールジョイント受け部にはめ込んでください。
※調整ネジは図のようにボールジョイントと受け部の間に入れてください。



③調整ネジを締めて組立ては完了です。
※ネジタップのすれに注意してください。

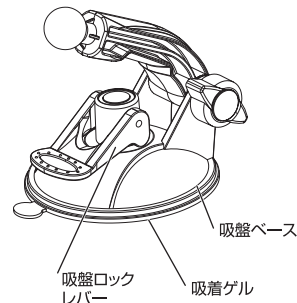
吸盤設置の前に

1.本製品を設置する時には下記の点についてご注意ください。

- ※エアバグ装備箇所には取付けないでください。
- ※運転の妨げになる箇所には取付けないでください。
- ※急な斜面、逆勾配・垂直となる箇所には取付けないでください。
- ※吸盤面より大きい水平面で取付けてください。
- ※段差や繊維などの場所への取付けはできません。
- ※皮革、布地、曲面、球面、凹凸部には取付けできません。

2.設置場所を中性洗剤などできれいにし、汚れ、ホコリなどを清掃してください。

- ※吸着ゲルや設置場所にホコリや油分が付着していると、十分固定できない場合があります。
- ※吸着力が弱まってきた場合は、吸着ゲルのホコリや油分を水で洗い流すと吸着力が復活します。
- ※頻繁に付外しすると吸着ゲルが劣化しやすくなります。



吸盤設置について

1.吸着ゲルのハクリシートをはがして、吸盤ロックレバーを上げてから設置場所に吸盤を強く押付けて取付けてください。

2.吸盤ベースを固定する際は、必ず吸盤ロックレバーを下げ、しっかり固定されていることをご確認ください。

- ※車種によっては貼付け部が多少変色したり、日焼けの跡が残る場合があります。



●設置場所の表面が粗く吸着が安定しない場合は、付属の吸盤補助シートをご利用ください。設置場所にはクリシートをはがした吸盤補助シートを強く押付け、貼付けてください。その後、吸盤補助シートの上から吸盤を取付けてください。

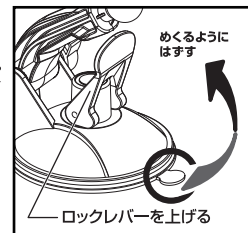
- ※吸盤補助シートは、皮革、布地、スエード地、球面、曲面、凹凸部には取付けできません。
- ※車種によっては吸盤補助シート貼付け部が多少変色したり、日焼けの跡が残る場合があります。
- ※吸盤補助シートは、粘着強度が安定するまで約24時間かかります。それまでは、負荷や衝撃を与えないでください。また、貼直しは粘着力が低下しますので絶対にしないでください。



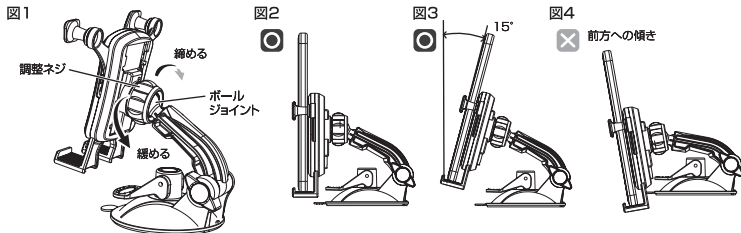
吸盤取外し方法

吸盤ベース取外しの際は、吸盤ロックレバーを上げてから吸盤のツマミ部からめくるように取外してください。強引に取外そうとすると破損の原因となりますのでご注意ください。

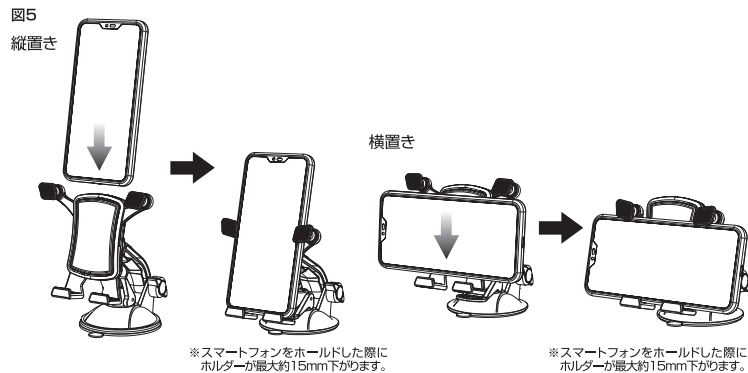
- ※吸盤ベースを取外す際は、吸着面が常温(20°C~15°C)になってから取外してください。
- ※吸着ゲルは極端な温度変化が起ると変質し取外しが困難になる場合があります。



ホルダー使用方法



1. 設置が完了しましたら、ホルダー部を任意の角度に調整してください。【図1】
 ※スマートフォンをホールドした際にホルダー部が最大約15mm下がります。【図5】
 取付場所のスペースを必ず確保してください。
 ※ホルダーへの傾き角度は垂直から上向き約15°程度を目安にしてください。
 前方へ傾けての使用はスマートフォンが落下する可能性がありますのでおやめください。【図2/図3/図4】
 ※必ず調整ネジを緩めてから調整してください。
 角度調整後は、調整ネジをしっかり締め、緩みがないことをご確認ください。
 ※運転中の操作は大きな事故などにつながる可能性がありますのでおやめください。
 ※脱着などによる事故、破損の原因となりますので、角度や向きを調整する場合は両手で行ってください。



2. スマートフォンをホルダーにセットすると、自動的にアームが動きスマートフォンをホールドします。【図5】
 ホルダーの向きを変えることなく、縦置き・横置きに対応します。

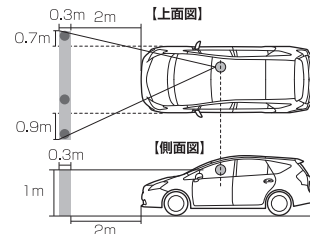


取付け位置について

- 国土交通省の定める保安基準に適合した位置に取付けることが義務づけられています。
 下記の「前方視界基準」を参照して運転者の視界を妨げない位置に取付けてください。
 ※道路運送車両の保安基準第21条(運転者席)、細目告示第27条および別途29

<前方視界基準>

- 対象車種
 - ①専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員1人以上のものを除く)
 - ②車両総重量が3.5トン以下の貨物用車
- 基準概要
 - 自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いし直接視認できること。
 - ※右図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は左右逆になります。



△ 警告・注意

- △警告: 本製品の分解・改造は危険ですので絶対にしないでください。また、分解・改造された製品について当社では責任を負いかねます。
- △警告: 走行中、運転者によるスマートフォンの操作は法律で禁止されています。必ず車を安全な場所に停車してからご使用ください。
- △警告: 安全のため、次の場所には取付けしないでください。■エアバッグの作動・効果の妨げになる場所 ■連動の妨げになる場所 ■突起物として危険が生じる場所 ■強い衝撃が加わる場所
- △注意: ダッシュボードの材質が本革・スエード・布張りの場合は、表面仕上げを痛める場合がありますので取付けしないでください。
- △注意: 走行前には必ず、本製品がしっかり固定されていることを確認してからご使用ください。不安定な状態での使用は脱着などによる事故、破損の原因となります。
- △注意: 窓ガラスへは取付けできません。
- △注意: 車内の高温・低温状態が長時間続くこと吸盤の吸着力が低下し、脱落する恐れがあります。
- △注意: 本製品を取外す際は、吸盤が破損しないよう、必ず吸盤のツマミを持って取外してください。
- △注意: 素材の特質上、炎天下や直射日光の熱などの影響で負荷がかかる状態での使用は、吸着面ごと取れる恐れがありますのでご注意ください。
- △注意: 車種によって吸盤の吸着力でダッシュボードが変形・変色する場合があります。
- △注意: 事故を走行する場合は本製品を取外してください。本製品及び設置したスマートフォン等が脱落する場合がありますのでご注意ください。
- △注意: スマートフォン等をホールドさせた時に固定が不安定なままでの使用はお控えください。
- △注意: 走行振動などにより徐々に可動部や調整ネジが緩んでくる場合があります。定期的な確認し、必要に応じて増し締めしてください。
- △注意: 本製品を直射日光の当たる場所や高温になる場所に保管しないでください。
- △注意: 本車を離れる際はスマートフォンを車内に放置しないでください。
- △注意: 本製品には小さな部品が含まれます。口に入れること窒息などの危険がありますので幼児の手が届かないところで使用、保管をしてください。
- △注意: 本製品の使用による接続機器の故障・誤作動・各種メモリの消失、及び通話などの機会を逃したために発生した損害などの付随的補償について当社では責任を負いかねます。必ず各種メモリの控えを取ってからご使用ください。
- △注意: スマートフォンなどが落下等で破損した場合、当社では一切その責任を負いかねます。
- △注意: 商品に品質不良があった場合の保証は現品交換のみとさせていただきます。なお、商品が無い場合は保証の対象となりません。
- △注意: 本パッケージに取扱説明書に記載されている警告・注意などを守らない場合や誤った取付け、ご使用をされた際の事故・故障・破損などにつきましては当社では一切その責任を負いかねます。
- △注意: 異常を発見した場合は直ちに使用を中止し、当社お客様相談センターへお問い合わせください。